

よくあるご質問 (Q&A)

Q.電子申請システム「eMLIT」って何？

A.国土交通省が、各種許認可申請をオンライン化するために導入しているシステムがeMLIT（正式名称：国土交通省手続業務一貫処理システム）です。宅建業免許については、知事免許に先んじて大臣免許が2024年5月25日から電子申請できるようになっています。ちなみに、読み方はイーエムリットです。

Q.手数料33,000円の支払い方法は？

A.手数料の支払い方法は、各都道府県が指定する納付方法で納める必要があります。都道府県によっては電子納付可能ですが、収入証紙を購入して郵送または持参しなければならない行政庁もあります。

Q.電子申請（オンライン申請）は簡単なの？

A.もちろん都道府県の窓口で申請書を紙提出する必要がなくなったというだけで大きなメリットではありますが、この電子申請システムはそこまで使いやすいものではありません。申請者に向けた「操作マニュアル」は、204ページにも及びます。

Q.今後も、従来通りの紙申請は受け付けてもらえる？

A.紙申請も従来通り受け付けてもらえます。

Q.eMLITで電子申請するにあたり、利用者登録は必要？

A.宅建業に関する免許申請には、「gBizIDプライム」または「gBizIDメンバー」のアカウントが必要です。なお、宅建士に関する申請には「eMLIT」のアカウントが必要です。

Q.「身分証明書」や「納税証明書」などの証明書は原本がいらなくなる？

A.都道府県によって対応が異なる可能性がありますが、「身分証明書」「登記されていないことの証明書」「納税証明書」「登記簿謄本」「印鑑証明書」などの証明書は、従来通り申請者が原本を取得し、その原本を電子ファイルにしてアップロードする方法で、電子申請が可能です。

よくあるご質問 (Q&A)

Q.宅建士証の交付手続きは、オンライン申請できない？

A.宅建士証の交付手続きは、当面の間、オンライン申請できません。また、宅建士資格登録簿変更登録申請に伴い、宅建士証の裏面に新住所の記載が必要な場合、変更登録申請自体はオンライン申請可能ですが、別途、宅建士証を都道府県庁に郵送する必要があります。

Q.オンライン申請を行政書士などに代理してもらうことはできる？

A.可能です。代理申請もできるようにシステムが整備されています。

Q.行政書士などに代理申請を依頼する場合、依頼者は一切eMLITを触る必要ない？

A.代理申請を依頼する場合でも、依頼者はeMLIT上で「代理人認証コード」を設定し、そのコードを代理人に伝える必要があります（代理人は、eMLIT上でそのコードの入力を求められます）。